

月・惑星データ閲覧・共有・解析システム WISE-CAPS の開発状況 Current implementation status of WISE-CAPS, browsing, sharing and analyzing system of lunar and planetary data

寺園 淳也^{1*}, 中村 良介², 児玉 信介², 山本 直孝², 出村 裕英¹, 平田 成¹, 小川 佳子¹, 菅原 友悦¹
TERAZONO, Junya^{1*}, NAKAMURA, Ryosuke², Shinsuke Kodama², Naotaka Yamamoto², DEMURA, Hirohide¹, HIRATA,
Naru¹, OGAWA, Yoshiko¹, Tomoetsu Sugawara¹

¹ 会津大学, ² 産業技術総合研究所

¹The University of Aizu, ²The Institute of Advanced Industrial Science and Technology

現在我々は、これまでの月・惑星探査で得られた膨大な量のデータを効率的に閲覧、共有、解析するためのシステム「WISE-CAPS」(Web-based Integrated Secure Environment for Collaborative Analysis of Planetary Science)の構築を行っている。

本システムは、膨大な量の月・惑星探査データ、とりわけ画像データを効率的に閲覧し、さらに閲覧環境の中でデータを研究者同士で共有、最終的には解析までを行えるようなプラットフォームを目指して開発が進められている。

システムは、閲覧や解析などの環境を選ぶことなくいつでもどこでも利用できることを前提としてウェブベースとしており、また地図情報をメインとして扱うことから、いわゆるウェブGISの形式をとっている。しかし、WISE-CAPSには、ユーザ(科学者をメインに想定している)が自由にデータを設置して他の人に閲覧してもらえるような環境や、そのユーザを選択できるなど、ユニークな機能が備わっている。また、システムはすべてオープンソースソフトウェアで構築されており、さらには内部のデータ流通についてもオープンなプロトコルを利用しており、他のシステムとの連携や柔軟な改造、さらにはユーザによる拡張なども将来的に行えるような環境を担保している。

昨年以來、このWISE-CAPSについては、いくつかの大きなシステム改良が実施され、より使いやすい環境を手にすることができるようになった。本発表では、この改良点について触れると共に、将来的な方向性についても述べる。

キーワード: ウェブGIS, 月探査, 惑星探査, ウェブ

Keywords: Web-GIS, lunar exploration, planetary exploration, web